

こたえていく。かなえていく。



2025 年 6 月 17 日

北 陸 電 力 株 式 会 社
丸 紅 新 電 力 株 式 会 社

北陸電力と丸紅新電力による加賀東芝エレクトロニクス向け 太陽光発電所由来の再エネ電力供給の開始

北陸電力株式会社（以下、北陸電力）と丸紅新電力株式会社（以下、丸紅新電力）は、加賀東芝エレクトロニクス株式会社（以下、加賀東芝エレクトロニクス）へ太陽光発電所由来の再生可能エネルギー電力（以下、再エネ電力）の供給を開始しました。

この取り組みは、複数の太陽光発電所で発電された再エネ電力を丸紅新電力が特定卸事業者（アグリゲーター）としてとりまとめ、北陸電力がオフサイトコーポレート PPA*にて加賀東芝エレクトロニクス株式会社へ供給するものです。これにより、加賀東芝エレクトロニクスにおける CO₂ 削減量は、約 13,000 t/年（一般家庭約 5,000 世帯分相当）を見込んでいます。

北陸電力では、電源の脱炭素化に向け「北陸電力グループ新中期経営計画」において 2030 年代早期に +100 万 kW 以上（2018 年度対比）の再エネ開発目標を掲げています。この目標を達成するための取組みの一環として、オフサイトコーポレート P P A をはじめとしたカーボンニュートラルサービスの導入拡大に今後も取り組んでまいります。

丸紅新電力は、親会社の丸紅株式会社の中期経営戦略 GC2027 に則し、「グリーンへの取組を推進」し、本オフサイトコーポレート P P A を通じて脱炭素社会の実現・持続可能な社会の実現に貢献していきます。再エネ電力の取扱高は、20 万 kW（AC ベース）を超え（2025 年 5 月末時点）、2030 年、500 万 k W 程度を目標として段階的に増やしながら、再エネ電力を広くお客様へ供給してまいります。

引き続き、北陸電力および丸紅新電力は、環境に配慮した継続的な事業活動に取り組むとともに、今回採用した特定卸事業による再エネ電力の供給という手法も活用しながら、更なる CO₂ 排出量削減を推進し、脱炭素社会の実現および地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。

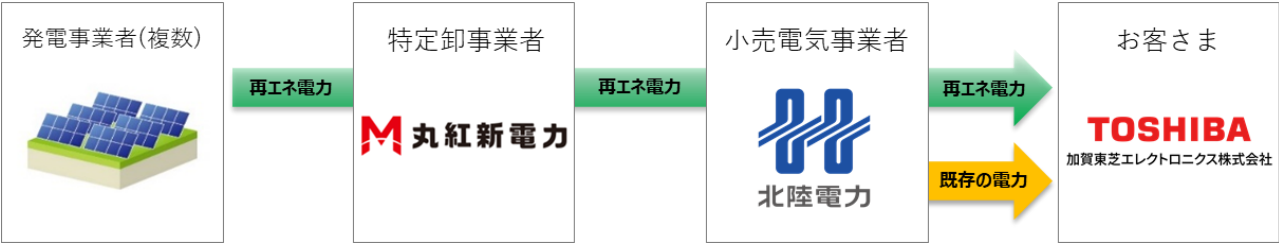
*オフサイトコーポレート PPA は、電力需要場所から離れた場所に太陽光発電など再生可能エネルギーの電源を設置し、小売電気事業者などを通じて需要家に電力を供給する仕組みです。PPA は Power Purchase Agreement（電力購入契約）の略で、需要家は設備の初期投資および運用・保守が不要で、発電した電力を購入する形となります。

■ オフサイトコーポレート PPA の概要

供給先	加賀東芝エレクトロニクス（石川県能美市岩内町 1 番地 1）
小売事業者	北陸電力（富山県富山市牛島町 15-1）
特定卸事業者	丸紅新電力（東京都千代田区大手町 1 丁目 4-2）
電源種別	太陽光
発電容量（合計）	約 24MW
年間発電電力量	約 27GWh/年
CO ₂ 削減量	約 13,000t/年（一般家庭 約 5,000 世帯分相当）※
供給開始時期	2025 年 6 月（供給期間：20 年間）

※2023 年度 北陸電力の事業者別排出係数にて算出

■ スキームイメージ



以 上